

兵庫県の教育事業で、ボランティア活動を推進！

今般、地区会員である太田隆男さんの活動が、神戸新聞に大きく掲載されました。太田さんは、昨年から、ボランティア活動で技術指導を進めていました。今回、県の教育委員会事業である「匠の技 探求事業」の講師として抜擢され、その活躍状況が紹介されています。素晴らしい社会貢献であり、激励の言葉をかけてあげて下さい。

● 神戸新聞の記事(2006・5・18 地域ニュース 24)(原文のまま)：

旋盤四十年 匠の技 高校生へ

太田さん 県教委事業で洲本実高に

ものづくりの高度な技術を持つ講師を高校に招き、工業技術者を育てようと、今春から始まった県教委の「匠の技」探求事業。

洲本市宇山二の洲本実業高校では、旋盤を四十年以上扱った技術者・太田隆男さん(六〇)同市物部を講師に迎えた。太田さんは「旋盤はものづくりの原点。教える喜びを感じる」と張り切っている。(小林伸哉)

握り、構え、実演交え

太田さんは、洲本市内の大手企業で〇四年に退職するまで各種旋盤を使い携帯電話のバッテリーなどの金型製造を担当。一九九八年には、県技能顕功賞を受けている。

昨年ボランティアで普通旋盤の使い方指導したが、今年は二回、機械科の生徒向けの鋼材を加工する実習を担当する。旋盤の技術は、百分の一ミリ単位の世界。材料の回転速度などを設定。刃の位置を二つの

生徒ら 成長実感、楽しい

ハンドルで操作し、高速回転する鋼材に近づけて加工する。瞬時の判断が、出来を左右する。素早く刃を動かす為のハンドルの握り方、体の構え方といった「匠の技」を実演を交えて伝える。放課後には機械加工(普通旋盤作業)の三級技能検定の実技試験と、兵庫県工業高校生ものづくりコンテスト上位入賞を目標にする生徒らへの指導も行っている。八人の生徒と二人の教員が自主練習に励む。

検定取得を目指す三年の豊田豪紀さん(十七)は太田さんの的確なアドバイスで、速くきれいに材料を削れるようになった。うまく仕上がると「楽しい」と学ぶ喜びを語る。昨年、二級検定を取得した機械科の太古正人教諭(四九)は二級検定に挑戦。太田さんの情熱を感じる。私たちも多くの技能を身につけたい。太田さんは「培った技術を伝えられるのが嬉しい。粘り強く、辛抱強く、慎重に旋盤でものづくりする姿勢は、人生にきっと生きるはず」と話している。

● 太田隆男さん談：

この記事により、多くの先輩や友人から激励を受けまして、こそばゆい思いをしましたが、今は、生徒達へ「物づくりの基本」を教えることに熱中しています。

クラブ活動の紹介

今回は近いうちに実施される予定のクラブ活動について、その一部を紹介します。

ゴルフクラブ（世話人 原下 正信さん）

- ・既に梅雨の時期に入りましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？
これからはすこしづつ暑くなって来ますが、体を動かして体力を維持していきましょう。
- ・第36回コンペを計画しました。今回はカップの取りきりコンペです。
過去の11回(第25回から第35回)において、3位以内の入賞者には権利がありますので、頑張ってください。
- ・一方、前回のコンペで進呈されたゴルフバッグは、今回の優勝者にも同じものが賞品として準備されています。これは全員が対象となります。
 - ・日 時：平成18年7月7日(金)
 - ・場 所：淡路カントリー倶楽部（午前9時24分 OUTスタート）

既に参加率16%で、177万円の協力に感謝！

- ・洋友会 SUPPORT SANYO(サポート・サンヨー)運動は、6月中旬現在で参加率が16%となり、金額は177万円強に至りました。有難うございました。
- ・運動は来年3/末迄ですが、引き続き早期の協力をお願い致します。
- ・購入結果は所定の用紙で、下記宛にお知らせ下さい。
(Tel&Fax:0799-24-0734 E-mail: hhassy@sumoto.gr.jp 橋本宛)

お願い

- 会報誌「洋友」秋号は「健康元気」をテーマに特集記事が掲載されます。
つきましては、次のような事柄で投稿して戴くよう、お願い致します。
 - 元気ハツラツ快適生活 ○右脳、左脳も元気です ○元気で運動・趣味
 - 元気で幸せ健康な輪 ○元気なストレス解消法 ○元気の出る一言
- ・原稿締め切りは、7月20日(木)迄。
- ・文字数は400-2000字で、写真等の資料を添えて下さい。
- ・パソコンで作成される場合は、フロッピーも添えて出して下さい。

お知らせ

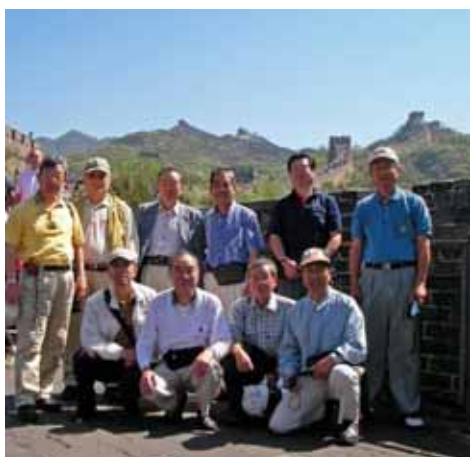
洋友会・洲本地区の事務所には、下記の役員が詰めております。ご要望や相談のあるときはどうぞお越し下さい。(毎週火曜日と木曜日の午前中：Tel/Fax:0799-23-9702)

7/04	萩野・川野	7/06	役員会	7/11	山口正・喜・伊藤	7/13	阿部・藤本
7/18	近藤・橋本	7/20	青海・廣瀬	7/25	金谷・原下	7/27	小西直・山崎
8/01	萩野・川野	8/03	役員会	8/08	山口正・喜・伊藤	8/10	阿部・藤本
8/15	お休み	8/17	お休み	8/22	近藤・橋本	8/24	青海・廣瀬
8/29	小西直・山崎	8/31	金谷・原下				

<投稿> 中国・北京への旅行

(橋本 尚さん記)

- ◇ 皆さん こんにちは！ 私達は有志 10 名で、5 月の下旬に旅行社の格安ツアーを使って、4 泊 5 日の北京旅行を楽しんできました。出発日は飛行機の遅れと高速道路の渋滞でホテルの到着が夜遅くになりました。翌日には好みの行事に分かれて、故宮や天安門広場等の観光と、他方は現地出向者達とのゴルフプレ-を楽しみました。
- ◇ プレ-した場所は「北京インターナショナル・ゴルフクラブ」で、約 20 年前に北京で最初にオープンした名門のゴルフ場です。前日からの雨が少し残りましたが、年間総雨量 700mm の北京では非常に珍しいとの事でした。プレ-の費用は土曜日でしたが、推測で 1 万円から 1.2 万円程度でした。
- ◇ さて、3 日目になって万里の長城と明の十三陵に行きました。当日は日曜日で大行列となり、万里の長城は遠くからみると蟻の行列そのままでした。バスを降りて頂上を目指すものの、急斜面の上り坂が多くて全員バテ気味でしたが、無事制覇できました。帰路は、七宝焼き工場や中国茶・絹製品店に立ち寄り、ショッピングを楽しみました。
- ◇ 夜は、北京飯店の近くの“玉府井(東京の銀座)”を訪れ、日本では食べられない料理にチャレンジしました。珍味の小食街に行き、シシカバブ(羊の肉の串焼き)や蟬の幼虫のから揚げ等を食べましたが、一方、タツノオトシゴやサソリについては、さすがに皆さんは嫌がって、手が出ませんでした。



<万里の長城にて>



<玉府井のグルメ料理>

- ◇ 4 日目は、私が三洋エナジー(北京)社の創立時にお世話になった、北京政府の方と会う事ができ、開発区で昼食を共にして旧交を温めました。中国では特に親しい人を“老朋友(ラオポンヨウ)”と呼ぶのですが、ラオポンヨウとして歓迎してくれました。
- ◇ 午後 3 時には、希望者(7 名)で“三洋エナジー(北京)社”の工場を訪問しました。西下総経理から工場概要を伺った後、工程を見学させて頂きました。第 2 工場には、極板製造の設備があり、一方ハンガリーから移管された素電池の製造ラインが導入中で日本から多くの出張者が応援の為に来られていました。工場内部は、日本に勝るとも劣らない程良く管理されており、セキュリティ管理(*)も厳しく行っていました。

*中国では製品やラベルや電池ケース等の盗難が多く、模造品製造業者に売られて本物と区別できない模造品が市場に出ますので、セキュリティ管理がとても重要です。

- ◇ 西下総経理には多忙なところを大変お世話になり、誠に有難うございました。



<三洋エナジー(北京)社で、現地スタッフと記念写真(2006.5.29)>

◇ 北京市内の状況を見てみますと、2008 年のオリンピックに向けて、交通網が拡張整備されています。例えば北京空港の地下鉄工事や故宮を中心とした第6 環路の建設が進んでおり、その地下鉄も三洋の北京工場の近く迄延長される予定です。

◇ また、高層住宅の建設ラッシュも激しくレンガ作りの家を取り壊されて、昔の北京の街並みが少なくなっています。



<北京の高層住宅群>

- ◇ ちなみに、高層住宅の標準的な家賃は、4000 元から 10000 元ぐらいです。しかし一方で、工場の賃金が作業者で 1100 元、課長クラスは 4000 元から 5000 元、部長クラスでは 8000 元から 10000 元と云われ、4 年前の約 1.5 倍となっています。
- ◇ 中国の経済成長は年率 9%以上と言われますが、2008 年のオリンピック以降に予想される急落が、多くの分野で懸念されています。(＊1 元は約 15 円) 以上

編集後記：

- 第 1 面の記事「匠の技」の掲載は新聞社の P R にもなるとの点で、神戸新聞社の淡路総局から快諾が得られました。太田さんの活躍は洋友会にとっても大きな誇りです。皆様も地域や私的団体等の活動で話題に上げれば、どうぞ遠慮なくご一報下さい。
- 今号は海外旅行も含めて公私にわたり、会員の元気な活躍が中心となりました。
- 季節は梅雨を経てすぐ夏本番。元気ハツラツ・健康に留意してお過ごし下さい。